

とちろローカルサミット G8セッション

テーマ：「持続可能な地域と金融」



(M) 吉澤 保幸

場所文化フォーラム 代表幹事
ぴあ(株)顧問、税理士
「とかちの...」大店長

<略歴>

- ◆ 1955年新潟県上越市生れ。1978年東大法卒、その後日本銀行勤務を経て、2001年2月からぴあ(株)。
- ◆ 企業経営や税理士業務に関わる一方で、場所文化フォーラムやものづくり生命文明機構を中心に、これまでの金融経験等を活かしながら、地域活性化のための新たな「志あるビジネス・金融モデル」や「ローカルファイナンス論」の構築を図ると共に、「とかちの...」を交流拠点にした全国の地域活性化活動の連携等に注力している。



(K) 内山 節

哲学者

立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科
教授、NPO法人「森づくりフォーラム」代表理事

<略歴>

- ◆ 1950年東京都世田谷区生まれ
- ◆ 1970年頃から、東京と群馬県の山村、上野村との二重生活をしている
- ◆ 【最近の著書等】
- ◆ 『<創造的である>ということ』 上・下 (農文協2006年)
- ◆ 『戦争という仕事』(信濃毎日新聞社2006年)
- ◆ 『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』(講談社現代新書2007年)他



中井 徳太郎

人事院給与局給与第二課長

<略歴>

- ◆ 1962年(昭和37年)生まれ。東京大学法学部卒業。85年大蔵省入省。
- ◆ イギリス大使館1等書記官、主計局主査(農林水産係)などを経験し、99年から2002年まで富山県に出向。生活環境部長などを勤め、いわゆる「逆さ地図」をモチーフとする日本海学の確立・普及に携わる。02年財務省広報室長。04年から06年まで東京大学へ出向し、医科学研究所教授。06年金融庁監督局協同組織金融室長。07年7月に現職に就任し現在に至る。



坂本 忠弘

地域共創ネットワーク株式会社
代表取締役

<略歴>

- ◆ 昭和41年奈良県生まれ。平成2年に大蔵省入省。財務省主計局、金融庁監督局等を経て、退官後、地域金融機関の新たな融資・投資のソリューションの提供、地域資源を活かしたユニークな事業活動の支援等を行う会社を設立。また、シンクタンク構想日本の政策担当ディレクター。



宮成 雄大

愛媛銀行従業員組合執行委員長
NPO法人ループ88四国理事長

<略歴>

- ◆ 昭和47年『四国最西端の町』愛媛県伊方町(旧三崎町)生まれ。平成6年に(株)愛媛銀行に入行。本店営業部、今治支店勤務を経て、平成15年より愛媛銀行従業員組合専従者。平成17年8月執行委員長。平成20年3月四国88カ所お遍路文化を世界に発信することを目的に、四国四県の第二地銀4行の従業員組合を中心として、NPO法人ループ88四国を設立。初代理事長に就任。現在に至る。



小森 正伸

帯広信用金庫 経営企画部部長

<略歴>

- ◆ 昭和32年(1957年) 帯広市生まれ
- ◆ 昭和54年(1979年) 東京都立大学卒業
- ◆ 同年 帯広信用金庫 入庫(本店勤務)
- ◆ 平成11年(1999年) 総合企画部 企画調査課長
- ◆ 平成15年(2003年) せいなん支店長
- ◆ 平成18年(2006年) 経営企画部 副部長
- ◆ 平成20年(2008年) 現職



豊田 浩司

農林漁業金融公庫 帯広拠点長

<略歴>

- ◆ 昭和35年東京都生まれ。
- ◆ 昭和57年農林公庫入庫。本店（農林水産省出向含む）勤務10年、支店勤務16年。支店は福岡支店を振り出しに東海（名古屋）、近畿（京都）、関東（さいたま）の各支店で融資業務を担当。特に農業生産者と結びついた食品産業向け融資に関する経験が豊富。政府系4金融機関の組織統合（本年10月）による支店網再編成に伴い、農林公庫はこれまで支店のなかった帯広に職員を常駐させることになり、統合より1年前倒しした昨年10月に帯広拠点を開設。現在、職員数10人で営業中。



川崎 哲史

日本政策投資銀行 業務企画部
調査役

<略歴>

- ◆ 昭和47年生まれ。一橋大学法学部卒。
- ◆ 平成9年 日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行し、平成11年に、東北支店赴任。平成13年国土交通省出向(総合政策局政策課)。平成17年地域企画部 調査役、平成19年公共ソリューション部調査役に着任。平成20年現職に至る。



井上 理

帯広商工会議所青年部
公認会計士

<略歴>

- ◆ 昭和45年幕別町生 慶應義塾大学卒業
- ◆ 監査法人トーマツにて、株式公開業務、監査業務に従事
- ◆ 平成16年 事務所開業現在に至る。
- ◆ 帯広商工会議所商工調停士
- ◆ 北海道中小企業再生支援マネージャー

セッションの様子



テーマ：「持続可能な地域と金融」

セッションキーワード

- ◆ カジノ化する経済、グローバルマネーの暴走が、我々の生活・いのちを脅かしている
 - ◆ 無事で安全な暮らしをまわす金融の在り方を問い直す必要
- ◆ 今の金融の在り方をどう組み直し、更に新しいお金の在り方を問うか
 - ◆ 従来の間接金融・直接金融の在り方を問い直し、特に協同組織金融の原点に立ち戻る必要があるのではないか
- ◆ 都市と農山村を含む地域では、十分な地域循環ができていない
 - ◆ 地域の貯蓄が地域で生かされていない(預貸率の低迷)

テーマ：「持続可能な地域と金融」

志民による具体的アクションプログラム

- ◆ お金は人と人をつなぐ単なる道具であり、それに振り回されることなく、金融は信頼と相互扶助であるという原点に立ち戻る
⇒貨幣愛に翻弄されない社会の価値観への転換を図る
- ◆ 貨幣価値絶対主義を崩し、貨幣価値に換算されない価値の大切さを生む新たなマネーフロー、金融の仕組みを構築する
⇒志民ファンドや農業ファンド等による都市・地域の志金の自然資源等への貯留とお金ではない形でのリターンを組み込んだ「志金循環」を、地域金融機関の創意工夫も得て実現する
- ◆ 更に減価するコミュニティー通貨や現代版講・無尽等の補完的金融の仕組みを創りあげ、無事で安心な生活を担保出来るようにする
⇒地域間の連携によるコミュニティー通貨のネットワーク化も具体化し、補完的金融を漸次拡大させて行く